

会報

会費振込先 第一勧銀川崎支店東北大学ワグネルフォーゲルOB会 普通口座(370-1881604)

「おじさんたち山にのぼる」 ～八ヶ岳同窓会(第22回生 58年卒)

【日程】 5月21日(土)～22日(日) 1泊2日
 【目的地】 北八ヶ岳(天狗岳)
 【行程】 21日 11時 茅野駅集合(食事, 買い出し)
 ～14時 渋の湯発 ～ 16時 黒百合平着 テント泊
 22日 10時 黒百合平発 ～ 東天狗岳, 西天狗岳往復
 ～12時 黒百合平 ～ 14時 渋の湯着(温泉)解散
 【参加者】 新井, 荒木, 新本, 石川, 官野, 高橋, 土屋(夫妻), 西川

そもそもこの山行企画はワグネル数人が渋谷の居酒屋で酒を飲んでいた席に端を発していた。それはこんな内容の会話だったと思う。

「ほとんどの奴が落ち着いちゃったしな。結婚式で集まれなくなった分, これからはみんなで集まるためには口実作らなくちゃいけないな。どうせ集まるなら同期でOB山行やったらいいんじゃないか? どこかい場所? 八ヶ岳あたりで連休あけていうのはどうだ?」

卒業して11年も経てばたまに集まって街で酒を飲んでも山より会社の話が多くなる。それでも潜在意識の中では山への共通の思いがあったのか。こういう場合, 提案は何の障害もなく実行に移されるものである。

同じ年に卒業したからといって体力はすでに一様ではない。未だに高校山岳部の顧問で毎週のように山に登りつづけている輩がいる一方で, 10年間も山に行っていないという奴までいる。酒を飲むために登る山だからハードである必要はないのだが, TUWVVにかつて在籍したという若干の自尊心もあるゆえ, それほどチンケな山に登るわけにもいかない。それに地理的に離れて住んでいるという問題もあり, みんなが一番アクセスしやすい場所となると結構選定は難しい。

難しい条件の中で, 北八ヶ岳の天狗岳が選ばれた。

結局, 同期13名中8人が集まった。この中には東京以外からの参加者として仙台(土屋), 高崎(新井), 松任(新本), 袋井(高橋)がいる。差し入れにわざわざ渋の湯まで来てくれたものの残念ながら入れ違いで会えなかった手塚も含めて数人が参加できなかったが, 点在して住んでいることを考えるとかなりの人数である。

ともあれ21日の昼に茅野で集まってからタイムマシンは動き出した。ワグネル時代のユニフォームを着て, ワグネル言葉で, ワグネル独特の悪い冗談をリバイバルし, 昔話のほじくり返す。客観的な時間は間違いなく卒業以来流れ続けているのだが, 一旦この枠組みの中に取り込まれると, それぞれがそれなりに分別のある中堅社会人として, あるいは父親として夫として生活していることがまるでフィクションのように思えてくるから不思議なものだ。エッセンしながらワインをのみ, テントではウィスキーを, 目覚めには雪渓で冷やしたビールをのみ。少々怠惰にはなっているが, 12年前に戻ったような錯覚に陥る。

そんな錯覚の中で唯一現実だったのが, ご覧の写真の中の紅一点, ミセス土屋。我々の世代は4年間完璧な男組だっただけに, 女性といっしょに山に登るなんてことは余程運がよくなければできなかったし, 運がよかった場合には「告白」(これワグネル用語 わかるだろうか)しなければならなかった。ご覧の写真が12年前のものでない歴然たる証拠は, 彼女が写っていることである。

下山後, 渋の湯で温泉に入り, 来年もこうした同窓会山行をやろうという話がでた。秋口がいいんじゃないだろうか。秩父の山はどうだろうか? そしてやがては家族連れにしてみても? ……

家族連れもいい案だが, その前に独身である高橋のために結婚期成同盟を作ることの方が先かもしれない。

あの人は今・・・近況報告

近況

昭和53年卒 三輪克行

TUWVを卒業し仙台を離れてから、もう十数年たちました。その頃の記憶がだんだん遠くなっていくのと同じように、最近の私も思いとは裏腹に実際の「山」からはまるで遠のいています。そういえば最近同期のOB山行の話もなくなってきたなあ、と前号の「会報」に投稿された伊田君の記事を読んでいて考えました。所帯を持ったり、仕事でもそれなりの責任ある立場になったりすると、なかなか時間が無くて大変なんだろうなと。

私も子供を（何と3人も！）こしらえ、その子育てにかみさんとともに明け暮れていましたので、一人て貴重な時間を使ってしまう勇気が無く、むろん金も無く、とうとうここまで来てしまったわけです。

ですが、4年程前から山というより自然に対する思い絶ちがたく、単にブームにのってんじゃねえかという気分も無いわけではないのですが、ついに「家族でキャンプ」を始めてしまいました。ところが例えばキャンプ場を選ぶにしても、ピッカピカのオートキャンプ場なんてのは敷居が高くてとても行けないんですねこれが。おじけづいてしまうんですね。一応装備や何かは相応のものを揃えています、今やコールマンの2バーナーとツーマントル、ヨーレイカドームとスノーピークのキッチンウェア、番犬はゴールデンリトリバーなんてので完全武装していないと、西湖あたりの某キャンプ場なんて肩身の狭い思いをさせていただきます。ホエーブス625使ったら不思議そうに見られてしまいましたよ。

で、なるべくメジャーのキャンプ場を避け、どちらかというガイドブックでもついでに書いてあるようなこだわりの一点追求テン場へ向かうわけです。最近はやはり山場が多く、気に入っていたのは山梨のテン場です。白樺の木立の中に清流が流れており、3時間程歩くと秩父山系の縦走路に入ることができます。ただここも最近では訪れる人がめっほう多くなってしまい足が遠のいています。

実は一昨日から一泊二日（この原稿を書いているのは94年11月14日の月曜日です）奥浜名のキャンプ場へ会社の同期の家族で集まってキャンプをしてきました。これは大体二ヶ月に一回第2土日を利用して行っている親睦会みたいなものですが、けっこう楽しんでます。なるべく静かに自然の中に身を浸し、身も心もリフレッシュ、ますます家庭に愛と平和を！というのが基本コンセプトではありますが、たいていお父さん達はビールとウイスキーでメロメロになってますけどね。

でも、ふと思えますね。ワンゲルやってた頃、しかもほとんど男ばっかでよく飽きもしないで重いテント担いで、夜は夜でパチャラカホイホイなんてやって、山の歌なんかも歌ってましたよ。なんであんなに楽しかったのかなど。やっぱりこういうことは知ってる人とでないに通じない、今や普通の人には話せない話題なわけです。私のかみさんは宮城のワンゲルOGですから、そのへんの貧しくもけなげな山の民の感覚が少しはわかるんで、一般人の奥さんをもらわれた人より多少理解してもらおうのが早いかもしれませんが、それでもキャンプ場で焚き火を起しきれいな夜空なんか見ていると、フッとため息をついてしまいますよ。

というわけで、こゝらで近況報告を終わります。もう少し体力をつけ（ウェイトを落とし）、ゆっくりと稜線を歩いていきたいと思う今日この頃です。

いつの間にか2児の父となり、

山のいえは年に1.2回行けばよい方

の近年ですが、「趣味は？」と聞か

れると、「音から山歩きをやります」

などと答えております。

〒350-11 川越市南大塚1508 B-102

353番 長谷川雅一 (S.60卒)

初めまして、社会人2年目に当たる29期の

猿山です。12月に独身寮を出て、マンションを

借りることにいたしました。今年10月10日は泊り

うと考えていたのですが、今のところ6日です。

伊田さんの報告を読んで、我々29期2年1回

ごとみの顔の集まる山行は行かなくて

思いました。〒190

東京都立川市

羽衣町1-21-1

CASA DE TAKA 303

猿山直毅

新年会のお知らせ

新年会は毎年1月の最終金曜日にいつもの所で行っています。

平成7年1月27日(金) 18:30

新橋駅のすぐ近くにある新橋亭(しんきょうてい)

会費は10000円の予定

皆さんお誘いの上ご出席下さい。特に若い人の出席は大歓迎です。遠くの方でも、東京に出張などで来るような場合には、ぜひ出席して下さい。飛び込み大歓迎です。反対に、出席ということになっているのに、当日欠席される方も結構います。これは本当に幹事泣かせです。予定が変わった時は、早めにご連絡下さい。

問い合わせ、連絡先 佐藤拓哉 Tel 0468-41-8622

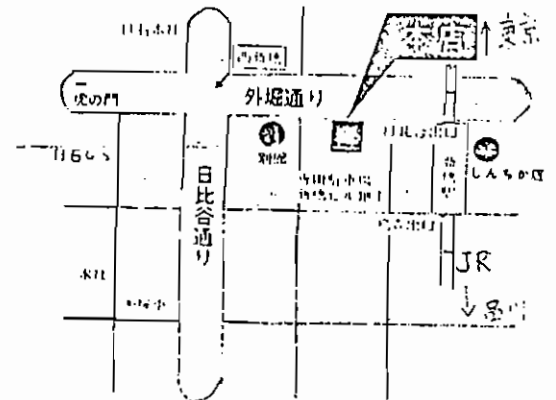
平成6年新年会出席者

鈴木先生ご夫妻、(S37) 渡辺英夫 (S39) 岡好宗、
 後藤龍男、松木功 (S40) 及川捷悦、鈴木重雄、
 関川利男、緑川学 (S41) 海老光一、桜洋一郎、
 渋川尚武、館岡淳、谷正美 (S42) 恩田達也、
 加藤邦明、野村彰夫、青木祐二 (S43) 五十嵐惇和、
 大木芳正、金子清敏、藤森英和、真尾征夫、村山貞一、
 上田俊郎、(S44) 小笠原弘三、佐藤拓哉&良子、
 鳥山研一、濱聡、三日月道夫、水上俊彦、三原健治
 (S45) 富川正夫、原田博夫、桃谷尚安 (S46)
 甲斐利春、黒田和雄、高野秀夫、杉森一太、田中康則、
 野家啓一、藤田徹、若佐則雄 (S47) 秋田修、
 仁藤祥一 (S48) 神山文範、藤田真利子、松井一昭
 (S50) 野家裕子 (S55) 石川重年、板橋正之、
 岩田徹、加藤正巳、須々木裕太、高川正徳
 (S58) 石川勤、官野厚、利根川敏

以上61名

中国料理 **新橋亭**

本店 東京都港区新橋2-6-3 〒105
 TEL (03)580-7811
 年中無休 12:00P.M.~9:30P.M.



平成5年1月~12月会計報告(東京口座)

| | |
|------|---------|
| 収入 | |
| 繰越金 | 563,543 |
| OB会費 | 42,000 |
| 利息 | 1,550 |
| 計 | 607,093 |

| | |
|---------|---------|
| 支出 | |
| 会報N023号 | 37,840 |
| 新年会案内 | 5,150 |
| 事務通信費 | 3,643 |
| 次年度繰越 | 560,460 |
| 計 | 607,093 |

★★ 編集後記 ★★

- ◇会報25号をお届けします。今年の新年会は鈴木先生の叙勲をお祝いを兼ねて行ったため、全国から多くの方に集まっていただきました。卒業以来初めて会う懐かしい顔がたくさんありました。
- ◇近況報告を何人かの方をお願いしていますが、近況を送って下さるのは、いつも1/3程度です。
「忘れる前にポストへ」よろしくお祈りします。
- ◇バックナンバーを希望の方、ご連絡下さい。大昔のもの(当然手書き)もあります。
- ◇年会費は1000円です。1ページ目の口座に振り振り込んで下さい。最近、新年会に参加した人から集めているだけという状態が続いていましたが、一昨年の新年会から集めるのを止めました。
皆さん、ご協力お願いいたします。

仙台に転動してから2年半になります。当初は40年同期は八木、西野の3名でしたが、八木は平成5年に熊本へ転動しました。来年は卒業後30年で、幾久会(19名だった)の同期会を作並温泉で行う予定です。

建設コンサルタントで調査・設計の仕事を続けています。昨年は仙台市、宮城県ともにゼネコン問題で新聞を賑わし、入札などで我が業界にも影が落ちてきております。

11月に火砕流で多数の死亡者を出したイトリ山のMt. 火山(約3,000m)には、砂防工事の施工管理で3年間滞在し、付合いで3回登りました。(年初めにお呼びが掛かる可能性がある。)

單身赴任はあと半年で終る予定で、そろそろ健康維持のための運動を始めねば、と思う今日この頃です。

840平塚

生まれ故郷の山形県に帰って来て三年目になりました。現在、飯豊のふもとの農業高校の分校で教鞭をとっています。(生徒数は65名!)

昨年は念願の飯豊を縦走、秋には朝日も歩きました。今年は近場の日帰り山行を中心に、月山、鳥海、磐梯、吾妻と、結構山は歩いています。

昨年、すっかり岩登りにハマってしまい、明けも暮れてもその二こばかりです。最近ちよとした話題にあってはフリークライミングというやつです。ピタリとタイトをはき、軽業師のようにひよひよいと岩を登っていくのです。(取っかしながらフンペにもなっています)先日、「本チャンの岩登りもやってみなさい!」と岩登りの師匠に言われ、黒沢の岩壁(いちばん易いルートでしか...)にも行きました。フリーとは又違った面白味があるけれど、イマイチでした。クライミングの本場フランスで思う存分登りみたい、というのが今の夢です。

そんなわけで、同期の人たちの心な知らせが次々と入るようになってきましたが、私はこの年でサッパリ...。でもがいつまでもぶらぶらしてはいられません。1995年こそは、山や岩ばかり相手にしないで、人間の男を相手にまっとうな人の道を歩まなければいけないな...と思いつつ、...

563年 白橋 彩

東北には、本願寺派は少な...なのですが、教義は次のとおりです。

- 1. 宗祖 見真大師 親鸞聖人
- 1. 本尊 阿彌陀如来(南無阿彌陀仏)
- 1. 教義 南無阿彌陀仏の教義を信じ、必ず仏にならせていただく身のしめおれを喜び、つねに報恩のおいから、世のため(おんがいに)とす

TUWVOB会会報に初めて登場致します。仙台から利府に引っ越して3年になります。早くもテレドアミという内線電話が壊れてしまい、いつ修理してもらおうかと困っていたりする今日この頃であります。家からは仙台湾海面の反射らしきものが認められることありますが、わが家の最大のセールスポイントは、二口の県境稜線が2階から眺められることでもあります。引っ越してきた当時、横や斜め前方の区画は空き地だったので、やがて家が建ちました。建築中には二口が見えなくなるのかと嘆きましたが、完成してみたら隣家の屋根はフラット型だし、前方の家は平屋にしてくれたので、今もあの懐かしい二口を見ることが出来ます。また、家から研究所へ行く途中からは船形連邦や蔵王連邦が見ることが出来ます。あまりにきれいに見えるときには、研究所への通勤ルートを変更して大きく蔵王が望めるたんぼ道を通って行ったりします。今年11月22日にきれいな冠雪蔵王が眺められました。いつまでも二口の山々を飽きることなく眺めている自分が好きです。

nanjo@tniri.go.jp

S56卒 東北工業技術研究所 南條 弘(利府町)

主人の学生時代のニヒも、ほとんども知りませんので、毎回、楽しく拜見しております。いつも会報が届きますと、主人もたいへん嬉しそうに読んでおりますが、とてもスポウな性格のため、返事も出さない姿に、佐藤さまは毎日、会報に近況報告を載せる皆さまに対して、申し訳ない気持ち一杯です。

主人の近況としては、秋田から、去年大阪に転勤となり、あいかから、営業火田を歩んでおります。山登りとは、離れておりますが、一年下の山子代と、毎週、釣りに行き、楽しい日々を過ごしております。 | 平田 恭史

(44年卒) 北条 真人 近況報告

大変ご不便さしてはいますが、1994年は私にとっていろいろありましたので、ご報告いたします。

5月18日 満願寺入山式および結婚式

今立 真人 になりました。

6月30日 浄土真宗 本願寺派 教師 授子 了

10月16日 満願寺 住職 継用 法要 勤修

なお、1993年12月15日 西本願寺にて 得度 済